米作り体験隊（５）　　＊＊　稲の成長　３　＊＊　　（２０１５．８）

８月になり寺田縄にも猛暑が続きます。台風は関東地方を避けているみたいですし、雨の少ないこの頃、畑は砂漠のように砂ぼこりが舞います。

ところが、水の張られた水田に続く農道は、心地よい涼風が身体を渡ります。実に気持ちが良く一日のパワーをもらいます。早朝散歩の方々、水田の稲を通して姿が見えます。

稲の様子が変わり始めました。稲穂をつけ始めました。お米の形や花を確認できるようになりました。もちろん、わたくしたちの田圃も同じです。

８月６日（木）午前５時５１分

私たちの田圃の向かい側、試験農場の稲に朝露が留まりました。

真珠玉をちりばめたような無数の小玉が輝いています。

私たちの田圃の北側、大山を望みます。

休耕田に、遠目には稲にも見えますが、近づくと雑草が伸びてきています。まもなく水田一面に覆い繁るでしょう。

例年ですと野鳥たちが飛来し、鳥撮りのカメラマンも集まります。

「イトトンボ」でしょうか？

野草の茎に止まりました。

遅れじと、撮影です。でも、残念、マクロレンズでなく固定焦点のカメラです。

明瞭な撮影はできませんでしたが、このように姿は捉えられました。

細くか弱いトンボですが、生を満喫しているかのように行き来していました。

水辺、湿地帯を好んで生息しています。

「イトトンボ」がいることは、付近で農薬が使われていないということです。

休耕田で撮影しました。

８月１４日（金）午前６時４３分

稲に葉ではない、何かが見えます。

そうです。稲穂です。

６０の数値は、穂先までの高さ、ｃｍを示します。　　お米の一粒ずつと、その先にはお米の花です。

ハッパ会の方々に守られ、稲は元気に発芽しています。

稲の新芽に囲まれ、「アマガエル」は一休み。

「サギ」は餌をついばんでいます。　（北側の休耕田）

まぶしいほどの稲の緑。ここ寺田縄の水田地帯には平和で長閑な田園が広がっています。

次回の報告を楽しみにしてください。